

中学校  
3年/技・家

## 情報モラル「携帯電話利用の光と影」

～携帯電話の利用について～

実践者 巨理町立巨理中学校 教諭 寺西 裕智

### 1. 学習の概要

#### 単元名

情報とコンピュータ「情報モラルとコンピュータの利用」

#### 単元の目標

生徒にとっては身近な存在となっている携帯電話の利用について、いろいろな事例を挙げながら、情報の送受信に必要な知識の習得と、正しく活用しようとする態度を育てる。

#### 本時の学習

##### 学習活動

1. 携帯電話の利用状況を確認する。
2. 指導パッケージ「責任ある行動」の読み物資料を配布し、登場人物の行動について考える。
3. 情報を発信するときに注意しなければならないことを考える。
4. 携帯電話の利用でさまざまな危険があることを学ぶ。
5. 携帯電話やパソコンの利用による身体の影響について学ぶ。
6. 携帯電話やパソコンの利用について家庭でのルール作りの必要性を理解し、方法を学ぶ。

##### 指導上の留意点

- 登場人物を自分の身に置き換えて考えさせるようにする。
- 情報を発信することで、周囲にどのような影響を与えるのかを考えさせる。
- 利用方法によっては思わぬトラブルに巻き込まれることや被害者にも加害者にもなり得る事をしっかり理解させる。
- 携帯電話などを利用することは、社会的に責任ある行動が求められることに気付かせ、そのための家庭のルール作りが大切であることを理解させる。

#### 本時活用機器・コンテンツ

- ・教師用PC ・ビデオプロジェクター
- ・自作パワーポイント「情報モラル総合サイト保護者対象指導パッケージ」  
(<http://midori.edu-c.pref.miyagi.jp/moral/>) 掲示用スライド一部活用

#### 補助資料等

- ・みやぎの情報モラル総合サイト 指導パッケージ「責任ある行動」  
(<http://midori.edu-c.pref.miyagi.jp/moral/sido-page/sidou.html>)
- ・学習プリント

### 2. 学習のポイント

#### ・授業参観を意識した授業

携帯電話の所持は、高校生になるとほぼ全員になることをふまえ、その利用について生徒と保護者で共通理解することについて焦点化をする。また、携帯電話を利用するときの光と影、身体に与える影響についてパワーポイントで紹介する。

この授業は授業参観にあわせて行うことで、家庭での携帯電話やパソコンの使用について、ルール作りの手助けにする。



#### ・携帯電話の利用について学ぶ

携帯電話の利用に対して、生徒の考えでは大変便利で楽しいものという意識が非常に高く、そこに潜む危険に気付かないでいることが多い。利用するとき、どんなトラブルが起こり得るかは、それについて学んでいないとなかなかわからないものである。そういう意味でも、利用するときのいろいろな弊害やトラブルについて学んでおく必要があると考える。授業は、よりわかりやすく円滑に進めていけるように、パワーポイントでスライドを作成し、それを活用する。



### 3. 学習のまとめ

#### ・授業を振り返って

この授業は授業参観ということもあり、内容を3つに絞って行った。内容が身近なものであることから、生徒の反応もよく、しっかりと話を聞いていた。しかし、もっと保護者も参加できる内容にしていけば、よりよい授業になったのではないかと反省している。



この授業は技術・家庭科として行ったが、学級活動や道徳、総合的な学習の時間の授業にも適した内容であると考え。もっと内容を吟味し、親子ともにしっかり学べる授業展開を考えていきたい。